

(18～19ヶ月用)

K-DST Korean Developmental Screening
Test for Infants & Children

韓国乳幼児発達スクリーニング検査

この発達スクリーニング検査道具は、乳幼児健康診断事業の一環として、保健福祉部と疾病管理本部の後援の下、大韓小児科学会、大韓小児精神健康医学会、大韓小児リハビリテーション発達医学会、心理学などの関連分野の専門家が集まり、韓国の乳幼児の特性に合わせて開発されたものです。

改正版



この検査紙の所有と著作権は、保健福祉部と疾病管理本部にあるため、承認なくして無断で変更・使用・販売することはできません。但し、診療現場や乳幼児の保育施設で所定の教育を修得した乳幼児健診医、小児科専門医、リハビリテーション科専門医、精神科専門医、発達障害関連の専門家(臨床心理学の専門家、発達心理学の専門家など)が乳幼児の発達スクリーニング検査のために使用することは許容されます。

韓国乳幼児発達スクリーニング検査(18～19ヶ月用)

❖ 下記の事項を記載してください。空欄を記入して、該当事項を ☒ チェックしてください。

乳幼児氏名			(男・女)	保護者	<input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> その他()				
生年月日	年 月 日		日(早産乳児の場合は出産予定日: 年 月 日)						
母親・父親について (選択事項)	母親の	年齢: 満()歳	学歴:	<input type="checkbox"/> 大学院以上	<input type="checkbox"/> 大卒	<input type="checkbox"/> 大学中退	<input type="checkbox"/> 高卒	<input type="checkbox"/> 中卒以下	
	父親の	年齢: 満()歳	学歴:	<input type="checkbox"/> 大学院以上	<input type="checkbox"/> 大卒	<input type="checkbox"/> 大学中退	<input type="checkbox"/> 高卒	<input type="checkbox"/> 中卒以下	
子どもの身体やその他の発達に問題がありますか?			<input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい(あるとしたら具体的な病名は?)						

**** この質問紙は、満18～19ヶ月の子どものための質問紙です。子どもが対象月齢でない場合は、月齢にあった質問紙にご記入ください。**

❖ 各質問項目に対して、下記の4つのうち1つだけチェックしてください。

もし、子どもが質問内容通りに行動できるか分からない場合は、行動を誘導してからお答えください。

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

以下の質問について、「赤ちゃんができるかどうか」を評価してください。

赤ちゃんが当該行動をできるけれども、様々な理由によってあまりしない場合:

例) 赤ちゃんがハサミを十分に使えるほど手の機能が発達しているように見えるが、普段はハサミを与えていない。

ブロック積みをすることはできるが、家にブロックがない、またはブロック遊びをあまり好んでいない。

このような場合には、「できる」とみなしてください。

粗大運動

1	フラフラしながら走る。(フラフラせずに自然に走れる場合は、「よくできる」をチェックしてください。)	③ ② ① ④
2	ソファやテーブルの上に這い上がる。	③ ② ① ④
3	後ろ歩きをすることができる。	③ ② ① ④
4	階段の手すりをつかみ、1段ごとに両足を揃えながら階段を上れる。(左右の足を交互に運んで上げなくてもよい。)	③ ② ① ④
5	止まっているボールを足で蹴れる。	③ ② ① ④
6	しゃがんだ状態から何もつかまずに一人で立ち上がれる。	③ ② ① ④
7	階段の手すりをつかみ、1段ごとに両足を揃えながら階段を降りられる。(左右の足を交互に運んで降りられなくてもよい。)	③ ② ① ④
8	両足をそろえてその場でピョンとジャンプできる。	③ ② ① ④

よくできる ③




まあまあできる ②

あまりできない ①

まったくできない ④



微細運動

1	(色)鉛筆の上部分をつかむ。 (すでに(色)鉛筆の真ん中部分や下部分をつかめる場合は、「よくできる」をチェックしてください。)		③ ② ① ④
2	(色)鉛筆と紙をあげると、線をあれこれ描いたり落書きをする。		③ ② ① ④
3	ブロックを2個以上積める。		③ ② ① ④
4	本のページをめくれる。(一度に1枚ずつでなくてもよい。)		③ ② ① ④

5	スプーンを正しくにぎって(食べ物がこぼれないように)口へ持っていく。		③ ② ① ④
6	(色)鉛筆の真ん中部分をつかむ。 (すでに(色)鉛筆の下部分をつかめる場合は、「よくできる」をチェックしてください。)		③ ② ① ④
7	ブロックを4つ以上積める。		③ ② ① ④
8	ブロックを2つ以上横にそろえて並べられる。		③ ② ① ④



認知

1	他の人の役割の真似をする。(例: 母親や父親がするように人形を抱っこやおんぶしたり、ミルクをあげたりする。)	③ ② ① ④
2	丸、四角、三角のような簡単な形の型はめブロックを1つ以上はめられる。	③ ② ① ④
3	幼児に手振り身振りで示さずに言葉で指示するだけで、他の部屋から物を持ってこることができる。(例: 『隣の部屋からおむつ持ってきて』)	③ ② ① ④
4	指示した身体の部位を1ヵ所以上指差す。(例: 目、鼻、口、耳)	③ ② ① ④

5	2つの連続指示のとおりに行動できる。(例: ティッシュを持ってきて床を拭く。)	③ ② ① ④
6	絵本に載っている絵の実物を持ってくる。(例: 鍵の絵を見せると実際に鍵を持ってくる。)	③ ② ① ④
7	動物の絵とその動物の声を理解している。	③ ② ① ④
8	指示した身体の部位を5ヵ所以上指差す。(例: 目、鼻、口、耳、腕)	③ ② ① ④



言語

1	見える場所にボールを置いて『ボールどこにあるの?』と尋ねるとボールのある方を見る。	③ ② ① ④
2	『いいえ』などのイヤだという意味の言葉を理解して使う。	③ ② ① ④
3	普段から身近な物(電話、自動車、本など)の絵を幼児に探させると指で差し示す。	③ ② ① ④
4	動物の名前を言われると、その動物の絵または写真を探し出せる。	③ ② ① ④

5	『ママ』、『パパ』以外の8つ以上の単語を話せる。	③ ② ① ④
6	絵本にでてくる物の名前を知っている。(例: 靴を指差して『これ何?』と尋ねると、靴と答える。)	③ ② ① ④
7	正確でなくても、2つの単語で成り立った文章を繰り返して言える。(例: 『お菓子ちょうだい』、『これ何?』と尋ねると、子どもが繰り返して言う。)	③ ② ① ④
8	『私』、『これ』、『あれ』などの代名詞を使用する。	③ ② ① ④

✧ 各質問項目に対して、下記の4つのうち1つだけチェックしてください。
もし、子どもが質問内容通りに行動できるか分からない場合は、行動を誘導してからお答えください。

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

社会性

1	大人に本を読んでほしいと本を渡す。	③ ② ① ④	5	『赤ちゃん(人形)にまんま食べさせてあげてね』と指示すると、人形にご飯を食べさせる真似をする。	③ ② ① ④
2	大人が教えると親しい大人に挨拶する。	③ ② ① ④	6	親しい人の怪我したり悲しむ様子を見ると、近寄り慰めるような行動をしたり言葉を言う。(例:「フーフー」と吐息であたためたり、『泣かないで』と言う)	③ ② ① ④
3	親しい人の電話の声を区別する。	③ ② ① ④	7	簡単な家の手伝いを指示通りにできる。(例: ティッシュで拭く。)	③ ② ① ④
4	母親(保護者)の関心を引くため、周辺の物や遠くにある物を指差す。	③ ② ① ④	8	人の前で歌を歌ったりダンスをする。	③ ② ① ④

自助努力

1	少し零しても、一人でコップを持って飲む。	③ ② ① ④	5	食べ物を手でつかまず、フォークやスプーンを使って食べる。	③ ② ① ④
2	上の衣服を着せる時に、袖口に腕をあててあげると、袖の中に腕を入れる。	③ ② ① ④	6	一人で帽子を被ったり、脱いだりできる。	③ ② ① ④
3	大人が歯磨きしている様子を見て、その真似をする。	③ ② ① ④	7	靴紐を緩めておくと、一人で靴を脱げる。	③ ② ① ④
4	大人の真似をして、手に水を付けて顔を洗う真似をする。	③ ② ① ④	8	手を洗ってあげてからタオルを渡すと、一人で手の水気を拭う。	③ ② ① ④

追加質問

1	立ったり歩くときに、足の裏をうまくつけられず「いつも」爪先立ちをする。(たまに爪先立ちをする場合は除く。)	1	0
2	歩けない。	1	0
3	幼児が保護者とあまり目を合わせない。(他のことに集中していて目を合わせない場合は除く。)	1	0

4	名前を呼んでもほとんど振り返らない。(聴力に異常がある場合や、他のことに集中しているため呼んでも振り返らない場合は除く。)	1	0
5	大人の関心を引く行動(例：物を指差す、一緒に遊ぼうとせがむ、声を出して呼ぶなど)をしない。	1	0

結果表(18～19ヶ月用)

乳幼児氏名		(男・女)	作成日	年	月	日
生年月日	年	月	日 (早産乳児の場合は出産予定日 : 年	月	日)	
保護者	□母 □父 □祖母 □祖父 □その他()					

結果の要約

分類 領域	1	2	3	4	5	6	7	8	総点	区切り点		
										ア	イ	ウ
粗大運動										14	19	24
微細運動										13	18	23
認知										8	15	23
言語										7	13	22
社会性										12	18	24
自助努力										12	17	23

追加質問

□1= はい □0= いいえ

質問	1 (M)	2 (M)	3 (S)	4 (S)	5 (S)
結果	□1 □0	□1 □0	□1 □0	□1 □0	□1 □0

評価結果

点数化

1. 点数化のための採点段階は、下記のと通りの4段階で構成されています。
(よくできる=3点、まあまあできる=2点、あまりできない=1点、まったくできない=0点)
2. 各領域の質問項目の点数を合計して総点を記録します。
3. 総点に対する評価は、各領域で示す区切り点に基づき、下記の4つに評価されます。
①詳しい検査を勧める ②追跡検査を勧める ③月齢相応 ④早い方

作成日: _____
評価者: _____ 署名